

報道関係者 各位

2016年3月4日

## 公開講演会「ワールドアートの最前線 アイヌの文様とエチオピアの響き」

### 2016年3月25日（金）開催！ 国立民族学博物館

国立民族学博物館（大阪府吹田市千里万博公園 10-1）では、公開講演会「ワールドアートの最前線 アイヌの文様とエチオピアの響き」を2016年3月25日（金）に開催する運びとなりました。

本講演では、現在のアート（芸術）の世界でどのような変化が起きているのか、その変化と現在の姿、さらには将来について、製作者やそれぞれの国や地域の状況などの違いに着目しつつ紹介していきます。

#### ◆アイヌの衣服の素材と文様

最近の研究では、北海道に暮らすアイヌの人々の間でも江戸時代初期から絹や木綿の衣服と布地が流入して、晴着やその文様にふんだんに使われていたことがわかってきました。しかも、時代を遡るほどよい素材が使われる傾向にあります。この講演では、北海道とロシアの博物館に収蔵されているアイヌの古い衣服から、その素材と文様の歴史を追います。



#### ◆職能者からアーティストへ 世界に羽ばたくエチオピアの楽師たち

古くよりエチオピア北部の社会において音楽を担ってきた楽師アズマリは、近年ポピュラーミュージックの世界やエチオピア国外の音楽シーンにおいても活躍するようになりました。地域社会の職能者から“表現者／アーティスト”まで姿を変えつつ、グローバルに活動する彼らを紹介します。

#### 【開催概要】

講演名	公開講演会「ワールドアートの最前線 アイヌの文様とエチオピアの響き」
日時	2016年3月25日（金）18:30～20:45（開場 17:30）
会場	オーバルホール（大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1）
主催	国立民族学博物館・毎日新聞社
講演1	「アイヌの衣服の素材と文様」 佐々木史郎（国立民族学博物館 教授）
講演2	「職能者からアーティストへ 世界に羽ばたくエチオピアの楽師たち」 川瀬慈（国立民族学博物館 助教）
パネル・ディスカッション	進行 丹羽典生（国立民族学博物館 准教授） コメンテーター：上羽陽子（国立民族学博物館 准教授）
申込／参加費	要事前申込（先着順）／無料（参加証が必要）
申込方法	「3月25日講演会参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX又はメールにてお申し込みください。お申し込みの際は、次の①～⑤を記載してください。

	<p>①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④連絡先電話番号 ⑤今後の講演会などのご案内送付希望の有無（次のア～ウのうち希望する記号→ア．講演会を含むみんぱく主催の研究会・催物等の案内を希望する／イ．講演会のみのご案内を希望する／ウ．いずれの案内も希望しない） 2月下旬より順次参加証を発送する予定です。</p> <p>*応募者多数の場合は、ご参加いただけない場合もございます。</p> <p>*2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方について①～⑤をご記載ください。</p> <p>*手話通訳をご希望される方、車椅子をご利用される方は、お席をご用意いたしますのでお申し込みの際に必ずご記載ください。</p> <p>*参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送、次回以降の講演会などのご案内以外には使用いたしません。</p>
宛先	<p>〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1          国立民族学博物館 研究協力課研究協力係          F A X 06-6878-8479          メールアドレス <a href="mailto:koenkai@idc.minpaku.ac.jp">koenkai@idc.minpaku.ac.jp</a></p>

### 【プログラム】

- 17:30-18:30 受付
- 18:30-18:35 開会 小菅洋人(毎日新聞大阪本社 編集局長)
- 18:35-18:40 挨拶 須藤健一(国立民族学博物館 館長)
- 18:40-19:15 講演1「アイヌの衣服の素材と文様」  
 佐々木史郎(国立民族学博物館 教授)
- 19:15-19:50 講演2「職能者からアーティストへ 世界に羽ばたくエチオピアの楽師たち」  
 川瀬慈(国立民族学博物館 助教)
- 19:50-20:10 休憩
- 20:10-20:45 パネル・ディスカッション 進行:丹羽典生(国立民族学博物館 准教授)  
 上羽陽子×佐々木史郎×川瀬慈 総合司会:南真木人(国立民族学博物館 准教授)

### 【本館の学術公開講演会とは】

先端的な研究活動を取りあげ、その成果を社会に積極的に還元するとともに、文化人類学・民族学を通じての異文化理解と、広く本館が学術研究機関であることの認識を一般市民に深めてもらうことを目的として、東京と大阪において実施しています。

今年度は、平成27年11月13日(金)に日経ホール(東京)にて「育児の人類学、介護の民俗学—フィールドワークによる再発見」を実施しました。

### 【登壇者紹介】

#### 佐々木史郎(国立民族学博物館 教授)

ロシアのシベリアや極東地方の先住民族のトナカイ飼育と狩猟活動、そして同地域の近世史と近代史の研究に従事する。

#### 川瀬慈(国立民族学博物館 助教)

アフリカ、主にエチオピアの音楽を対象にした人類学研究、及び映像作品の制作を行う。

#### 上羽陽子(国立民族学博物館 准教授)

インドを中心に南アジアで刺繍、染め、織りなどの手工芸調査に従事。

【お問い合わせ】 国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:[koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

プレス向けウェブサイト [www.minpaku.ac.jp/press](http://www.minpaku.ac.jp/press)